

排出目標値に対する評価結果

1) アイオーティカーボン株式会社

全ての項目において A 評価となっており、『評価 A』に該当することから、現在のアイオーティカーボン(株)による周辺環境への影響は軽微であると評価できる。

排出目標値との比較結果

項目	対象施設	排出目標値	規制基準値	測定結果		モニタリング結果の評価			測定日	
				第1回 (4月～ 9月)	第2回 (10月～ 3月)	A	B	C		
大気汚染	二酸化硫黄 (K 値)	高温炭化炉 /低温炭化装置	1.87	2.34	0.018※4	不検出※ 4	1.87 未満	1.87 以上 2.34 未満	2.34 以上	第1回 7/27
	二酸化窒素 (ppm)	高温炭化炉 /低温炭化装置	200	250	66※5	45※5	200 未満	200 以上 250 未満	250 以上	
	ばいじん (g/Nm ³)	高温炭化炉 /低温炭化装置	0.12	0.15	不検出	不検出	0.12 未満	0.12 以上 0.15 未満	0.15 以上	第2回 12/18
	塩化水素 (mg/Nm ³)	高温炭化炉 /低温炭化装置	560	700	1.3	不検出	560 未満	560 以上 700 未満	700 以上	ダイオキシ ン類 7/27
	ダイオキシ ン類 (ng-TEQ/Nm ³)	高温炭化炉 /低温炭化装置	4.0	5.0	0.0054	—	4.0 未満	4.0 以上 5.0 未満	5.0 以上	
	一酸化炭素 (ppm)	高温炭化炉 /低温炭化装置	80	100	2.4	1.7	80 未満	80 以上 100 未満	100 以上	
水質汚濁	下水	pH	5.8～8.6	5 を超え 9 未満	7.2	7.0	5.8～8.6	5 を超え 5.8 未満または 8.6 を超え 9 未満	5 以下ま たは 9 以 上	第1回 下水 7/20 雨水 7/13
		BOD (mg/l)	480	600	82	4.2	480 未満	480 以上 600 未満	600 以上	第2回 下水 12/6
		SS (mg/l)	480	600	12	40	480 未満	480 以上 600 未満	600 以上	
	雨水	SS (mg/l)	120	—	13	2	120 未満	120 以上	—	雨水 12/6
		油分 (mg/l)	油膜が認め られない こと	—	不検出	不検出	油膜が認め られない	油膜が認め られる	—	
騒音 ※3	昼間(dB)	70	工業専用地域に つき規制基準なし	52～59	49～56	70 未満	70 以上	—	第1回 6/20	
	朝夕(dB)	65	工業専用地域に つき規制基準なし	46～57	48～53	65 未満	65 以上	—		
	夜間(dB)	63	工業専用地域に つき規制基準なし	48～58	49～53	63 未満	63 以上	—		
振動 ※3	昼間(dB)	65	工業専用地域に つき規制基準なし	37～44	42～48	65 未満	65 以上	—	第2回 12/14～15	
	夜間(dB)	60	工業専用地域に つき規制基準なし	25 未満～ 31	25 未満～ 33	60 未満	60 以上	—		
悪臭	臭気	周辺の人の 多数が 不快を感じないと 認められる 程度	周辺の人の多数が 不快を感じないと 認められる程度	臭気指数 10 未満 (風下)	臭気指数 10 未満 (風下)	臭気濃度 10 以下	—	臭気濃度 10 を超 える	第1回 6/21※1 第2回 12/6※2	

※1 悪臭測定時の気象(第1回) 天候:晴、気温:28.9℃、風向:南

※2 悪臭測定時の気象(第2回) 天候:晴、気温:14.0℃、風向:南南東

※3 騒音・振動測定時の主風向:第1回/CALM(朝、夕、夜間)、北西2.3m/s(昼間)
第2回/CALM(朝、夕、夜間)、南東1.5m/s(昼間)

※4 測定値は硫黄酸化物の測定データである。

※5 測定値は窒素酸化物の測定データである。

2) 富山グリーンフードリサイクル株式会社

全ての項目においてA評価となっており、『評価A』に該当することから、現在の富山グリーンフードリサイクル㈱による周辺環境への影響は軽微であると評価できる。

排出目標値との比較結果

項目	対象施設	排出目標値	規制基準値	測定結果		モニタリング結果の評価			測定日		
				第1回 (4月～ 9月)	第2回 (10月～ 3月)	A	B	C			
大気汚染	二酸化硫黄 (K 値)	マイクロガスタービン2001	1.87	小規模につき 対象外	停止中	停止中	1.87 未満	1.87 以上	—	第1回 7/27	
		マイクロガスタービン2002			0.0007 未満	0.0008 未満	1.87 未満	1.87 以上	—		
		マイクロガスタービン2003			停止中	停止中	1.87 未満	1.87 以上	—		
		温水ボイラー			不使用	不使用	1.87 未満	1.87 以上	—		
	二酸化窒素 (ppm)	マイクロガスタービン2001	70	小規模につき 対象外	停止中	停止中	70 未満	70 以上	—	第2回 1/25	
		マイクロガスタービン2002			3.3	2.4	70 未満	70 以上	—		
		マイクロガスタービン2003			停止中	停止中	70 未満	70 以上	—		
		温水ボイラー			不使用	不使用	150 未満	150 以上	—		
	硫化水素 (ppm)	脱硫塔	16	20	0.1 未満	0.1 未満	16 未満	16 以上 20 未満	20 以上		
	アンモニア (ppm)	脱硫塔	160	200	0.1 未満	0.1 未満	160 未満	160 以上 200 未満	200 以上		
水質汚濁	下水	pH	排水処理設備	5.8～8.6	5 を超え 9 未満	8.3	8.5	5.8～8.6	5 を超え 5.8 未満または 8.6 を超え 9 未満	5 以下 または 9 以上	第1回 7/5
		BOD (mg/l)	排水処理設備	480	600	4	5	480 未満	480 以上 600 未満	600 以上	
		SS (mg/l)	排水処理設備	480	600	4	8	480 未満	480 以上 600 未満	600 以上	第2回 1/5
	雨水	SS (mg/l)		120	—	18	1 未満	120 未満	120 以上	—	
		油分		油膜が認められないこと	—	0.5 未満	0.5 未満	油膜が認められない	油膜が認められる	—	
騒音 ※3	昼間(dB)	施設全体	70	工業専用地域につき規制基準なし	54	55	70 未満	70 以上	—	第1回 7/7	
	朝夕(dB)	バークラス製造設備	65	工業専用地域につき規制基準なし	52	49～52	65 未満	65 以上	—		
	夜間(dB)	バークラス製造設備	63	工業専用地域につき規制基準なし	51	49	63 未満	63 以上	—		
振動 ※3	昼間(dB)	施設全体	65	工業専用地域につき規制基準なし	42	43	65 未満	65 以上	—	第2回 1/19	
	夜間(dB)	バークラス製造設備	60	工業専用地域につき規制基準なし	31	ND	60 未満	60 以上	—		
悪臭	アンモニア (ppm)	生ゴミ処理棟 排水処理槽	1	2	0.1 未満	0.1 未満	2 未満	1 以上 2 未満	2 以上	第1回 7/5※1	
	臭気指数	汚泥脱水設備 発酵棟 脱臭設備	周辺の人の多数が不快を感じないと認められる程度	周辺の人の多数が不快を感じないと認められる程度	臭気濃度 10 未満 臭気指数 10 未満	臭気濃度 10 未満 臭気指数 10 未満	臭気濃度 10.0 以下 臭気指数 10 以下	—	臭気濃度 10 を超える	第2回 1/5※2	

※1 悪臭測定時の気象 (第1回) 天候：曇、気温：25.9℃、風向：南

※2 悪臭測定時の気象 (第2回) 天候：晴、気温：6.2℃、風向：南

※3 騒音・振動測定時の主風向：第1回/南 3.3m/s (6:00)、北北東 1.9m/s (10:00)、南南東 4.7m/s (21:00)、西 2.1m/s (23:00)

第2回/北北東 6.4m/s (6:00)、北北東 6.0m/s (11:00)、東南東 1.6m/s (20:00)、南南西 2.4m/s (23:00)

3) 日本オートリサイクル株式会社

大気については測定を行っていないが、溶融炉施設を廃止しているため、周辺住民への影響はない。今後、別の施設が新設・稼働した場合は、注視していくことが重要である。

全ての項目においてA評価となっており、『評価A』に該当することから、現在の日本オートリサイクル(株)による周辺環境への影響は軽微であると評価できる。

排出目標値との比較結果

項目	対象施設	排出目標値	規制基準値	測定結果		モニタリング結果の評価			測定日	
				第1回 (4月～ 9月)	第2回 (10月～ 3月)	A	B	C		
水質汚濁	下水	pH	5.8～8.6	5を超え 9未満	7.2	7.5	5.8～8.6	5を超え5.8未 満または8.6を 超え9未満	5以下 または 9以上	第1回 7/7
		BOD (mg/l)	480	600	93	74	480未満	480以上 600未満	600以上	
		SS (mg/l)	480	600	120	29	480未満	480以上 600未満	600以上	第2回 1/19
	雨水	SS (mg/l)	120	—	2	1未満	120未満	120以上	—	第1回 7/7
		油分 (mg/l)	油膜が認め られないこと	—	0.5未満 (油膜が 認められ ない)	0.5未満 (油膜が 認められ ない)	油膜が認め られない	油膜が認め られる	—	第2回 1/19
騒音 ※2	昼間(dB)	70	工業専用地域に つき規制基準なし	48	50	70未満	70以上	—	第1回 7/7	
	朝夕(dB)	65	工業専用地域に つき規制基準なし	45～47	40～45	65未満	65以上	—		
	夜間(dB)	63	工業専用地域に つき規制基準なし	45	42	63未満	63以上	—		
振動 ※2	昼間(dB)	65	工業専用地域に つき規制基準なし	38	37	65未満	65以上	—	第2回 1/19	
	夜間(dB)	60	工業専用地域に つき規制基準なし	30未満	30未満	60未満	60以上	—		
悪臭	臭気	周辺の人の多数 が不快を感じな いと認められる 程度	周辺の人の多数が 不快を感じないと 認められる程度	—	臭気濃度 10未満 臭気指数 10未満	臭気濃度 10以下	—	臭気濃度 10を超える	1/5※1	

※1 悪臭測定時の気象(第2回) 天候:晴、気温:8.8℃、風向:南

※2 騒音・振動測定時の主風向:第1回/南3.3m/s(6:00)、北北東1.9m/s(10:00)、南南東4.7m/s(21:00)、西2.1m/s(23:00)
第2回/北北東6.4m/s(6:00)、北北東6.0m/s(11:00)、東南東1.6m/s(20:00)、
南南西2.4m/s(23:00)

4) 株式会社富山環境整備

大気については測定を行っていないが、プラスチック油化設備を撤去しており稼働していないため、周辺住民への影響はない。水質（下水）については測定を行っていないが、再商品化設備及び排水処理設備を撤去しており稼働していないため、周辺住民への影響はない。今後、施設が稼働した場合は注視していくことが重要である。

全ての項目においてA評価となっており、『評価A』に該当することから、現在の(株)富山環境整備による周辺環境への影響は軽微であると評価できる。

排出目標値との比較結果

項目	対象施設	排出目標値	規制基準値	測定結果		モニタリング結果の評価			測定日	
				第1回 (4月～ 9月)	第2回 (10月～ 3月)	A	B	C		
大気汚染	二酸化窒素 (ppm)	プラスチック 油化施設	180	小規模につき 対象外	— (撤去)	— (撤去)	180未満	180以上	—	—
水質汚濁	下水	pH	5.8～8.6	5を超え9未満	— (撤去)	— (撤去)	5.8～8.6	5を超え 5.8未満ま たは8.6を 超え 9未満	5以下 または 9以上	—
		BOD (mg/l)	480	600	— (撤去)	— (撤去)	480未満	480以上 600未満	600以上	—
		SS (mg/l)	480	600	— (撤去)	— (撤去)	480未満	480以上 600未満	600以上	—
	雨水	SS (mg/l)	120	—	不検出	不検出	120未満	120以上	—	第1回 7/13
油分 (mg/l)		油膜が認め られない こと	—	不検出	不検出	油膜が認め られない	油膜が認め られる	—	第2回 12/12	
騒音 ※3	昼間(dB)		70	工業専用地域に つき規制基準なし	53～61	48～61	70未満	70以上	—	第1回 6/20
	朝夕(dB)		65	工業専用地域に つき規制基準なし	39～49	43～50	65未満	65以上	—	
	夜間(dB)		63	工業専用地域に つき規制基準なし	40～48	42～49	63未満	63以上	—	
振動 ※3	昼間(dB)		65	工業専用地域に つき規制基準なし	38～42	37～42	65未満	65以上	—	第2回 12/14
	夜間(dB)		60	工業専用地域に つき規制基準なし	25未満 ～30	25未満 ～34	60未満	60以上	—	
悪臭	臭気		周辺の人の 多数が 不快を感じないと 認められる 程度	周辺の人の多数が 不快を感じないと 認められる程度	臭気指数 10未満 (風下)	臭気指数 10未満 (風下)	臭気濃度 10以下	—	臭気濃度 10を超える	第1回 6/21※1 第2回 12/6※2

※1 悪臭測定時の気象（第1回）天候：晴、気温：28.9℃、風向：南

※2 悪臭測定時の気象（第2回）天候：晴、気温：13.5℃、風向：南南東

※3 騒音・振動測定時の主風向：第1回/CALM（朝、夕、夜間）、北東 3.0m/s（昼間）
第2回/CALM（朝、昼間、夕、夜間）

5) 株式会社エコ・マインド

全ての項目においてA評価となっており、『評価A』に該当することから、現在の(株)エコ・マインドによる周辺環境への影響は軽微であると評価できる。

排出目標値との比較結果

項目	対象施設	排出目標値	規制基準値	測定結果		モニタリング結果の評価			測定日	
				第1回 (4月～9月)	第2回 (10月～3月)	A	B	C		
水質汚濁	SS (mg/l)	120	—	4～13	1～5	120未満	120以上	—	第1回 7/13	
	油分 (mg/l)	油膜が認められないこと	—	不検出	不検出	油膜が認められない	油膜が認められる	—	第2回 12/12	
騒音※3	昼間(dB)	施設全体	70	工業専用地域につき規制基準なし	50～59	47～57	70未満	70以上	—	第1回 6/20
	朝夕(dB)		65	工業専用地域につき規制基準なし	40～49	42～50	65未満	65以上	—	第2回 12/14
	夜間(dB)		63	工業専用地域につき規制基準なし	43～49	43～49	63未満	63以上	—	
振動※3	昼間(dB)	施設全体	65	工業専用地域につき規制基準なし	38～43	36～41	65未満	65以上	—	第1回 6/21※1 第2回 12/6※2
	夜間(dB)		60	工業専用地域につき規制基準なし	25未満～29	25未満～32	60未満	60以上	—	
悪臭	臭気	繊維・プラスチック・紙等廃棄物	周辺の人の多数が不快を感じないと認められる程度	周辺の人の多数が不快を感じないと認められる程度	臭気指数10未満(風下)	臭気指数10未満(風下)	臭気濃度10以下	—	臭気濃度10を超える	第1回 6/21※1 第2回 12/6※2

※1 悪臭測定時の気象(第1回) 天候:晴、気温:28.9℃、風向:南

※2 悪臭測定時の気象(第2回) 天候:晴、気温:14.0℃、風向:南南東

※3 騒音・振動測定時の主風向:第1回/東南東 1.1m/s(朝)、西北西 2.4m/s(昼間)、北北西 1.1m/s(夕)、CALM(夜間)
第2回/南南東 1.2m/s(朝)、CALM(昼間、夕、夜間)

6) 浜田化学株式会社

全ての項目においてA評価となっており、『評価A』に該当することから、現在の浜田化学㈱による周辺環境への影響は軽微であると評価できる。

排出目標値との比較結果

項目	対象施設	排出目標値	規制基準値	測定結果		モニタリング結果の評価			測定日	
				第1回 (4月～ 9月)	第2回 (10月～ 3月)	A	B	C		
水質汚濁	雨水	SS (mg/l)	120	—	4	2	120 未満	120 以上	—	第1回 7/13
		油分 (mg/l)	油膜が認められないこと	—	不検出	不検出	油膜が認められない	油膜が認められる	—	第2回 12/12
騒音 ※3	施設全体	昼間(dB)	70	工業専用地域につき規制基準なし	52～62	53～61	70 未満	70 以上	—	第1回 6/20
		朝夕(dB)	65	工業専用地域につき規制基準なし	49～60	51～61	65 未満	65 以上	—	第2回 12/14
		夜間(dB)	63	工業専用地域につき規制基準なし	50～58	51～58	63 未満	63 以上	—	
振動 ※3	施設全体	昼間(dB)	65	工業専用地域につき規制基準なし	36～41	41～50	65 未満	65 以上	—	第1回 6/21※1 第2回 12/6※2
		夜間(dB)	60	工業専用地域につき規制基準なし	29～32	28～32	60 未満	60 以上	—	
悪臭	臭気	前処理棟	周辺の人の多数が不快を感じないと認められる程度	周辺の人の多数が不快を感じないと認められる程度	臭気指数 10 未満 (風下)	臭気指数 10 未満 (風下)	臭気濃度 10 以下	—	臭気濃度 10 を超える	

※1 悪臭測定時の気象 (第1回) 天候: 晴、気温: 28.9℃、風向: 南

※2 悪臭測定時の気象 (第2回) 天候: 晴、気温: 14.0℃、風向: 南南東

※3 騒音・振動測定時の主風向: 第1回/CALM (朝、夕、夜間)、北東 3.0m/s (昼間)、第2回/CALM

7) 株式会社アイザック

悪臭の測定項目のうち臭気指数について目標値を超えたが、臭気は不快を感じない程度であり、悪臭 22 物質についても A 評価となっている。また、臭気指数を除く全ての項目において A 評価となっており、目標値を超えた臭気指数には十分留意する必要があるものの、周辺の人に不快を与える臭気調査には該当していないことから、全体としては周辺環境への影響は小さいものと評価できる。

排出目標値との比較結果

項目	対象施設	排出目標値	規制基準値	測定結果						モニタリング結果の評価				
				4/21	6/1	9/11	10/26	12/5	2/28	A	B	C		
大気汚染	焼却施設	硫黄酸化物 (ppm)	80	—	0.14 未満	0.13 未満	0.15 未満	0.12 未満	0.27	0.13 未満	80 未満	80 以上	—	
		(K 値)	1.87	2.34	0.00134 未満	0.00131 未満	0.00145 未満	0.00151 未満	0.00295	0.00125 未満	1.87 未満	1.87 以上 2.34 未満	2.34 以上	
		窒素酸化物 (ppm)	144	250	20	53	35	20	22	31	144 未満	144 以上 180 未満	180 以上	
		塩化水素 (mg/Nm ³)	560	700	5.1	4.6	9	1.2	1.1	10	560 未満	560 以上 700 未満	700 以上	
		ばいじん (mg/Nm ³)	120	40	2 未満	2 未満	2 未満	2 未満	2 未満	2	40 未満	40 以上 120 未満	120 以上	
		一酸化炭素 (ppm)	80	100	0.8	0.2	0.6	0.2	0.4	0.2	80 未満	80 以上 100 未満	100 以上	
		水銀及びその化合物 (mg/Nm ³)	0.02	—	0.002	—	0.0051	—	0.0048 未満	—	0.02 未満	0.02 以上	—	
		鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	8	10	0.0005 未満	—	0.0005 未満	—	0.0006 未満	—	8 未満	8 以上 10 未満	10 以上	
		カドミウム及びその化合物 (mg/Nm ³)	0.8	1	0.0005 未満	—	0.0005 未満	—	0.0006 未満	—	0.8 未満	0.8 以上 1 未満	1 以上	
		砒素、酸化砒素及び酸化砒素 (mg/Nm ³)	5.0	—	0.44	—	0.4 未満	—	0.38 未満	—	5.0 未満	5.0 以上	—	
		銅及びその化合物 (mg/Nm ³)	5.0	—	0.0007	—	0.0007	—	0.0006 未満	—	5.0 未満	5.0 以上	—	
		亜鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	5.0	—	0.01	—	0.017	—	0.006	—	5.0 未満	5.0 以上	—	
		砒素及びその化合物 (mg/Nm ³)	0.50	—	0.0005 未満	—	0.0005 未満	—	0.0006 未満	—	0.50 未満	0.50 以上	—	
		セレン及びその化合物 (mg/Nm ³)	0.50	—	0.0005 未満	—	0.0005 未満	—	0.0006 未満	—	0.50 未満	0.50 以上	—	
		クロム及びその化合物 (mg/Nm ³)	0.25	—	0.0008	—	0.0005 未満	—	0.0006 未満	—	0.25 未満	0.25 以上	—	
		塩素 (mg/Nm ³)	15	—	2.4	—	9.1	—	0.88	—	15 未満	15 以上	—	
		シアン化水素 (mg/Nm ³)	0.25	—	0.019 未満	—	0.019 未満	—	0.02 未満	—	0.25 未満	0.25 以上	—	
		ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	0.08	0.1	—	0.022	—	—	0.028	—	0.08 未満	0.08 以上 1 未満	1 以上	
		焼却	焼却	焼却灰ダイオキシン類 (ng-TEQ/g)	2.4	3	—	—	—	0.061	—	2.4 未満	2.4 以上 3 未満	3 以上
				ばいじんダイオキシン類 (ng-TEQ/g)	2.4	3	—	—	—	0.067	—	2.4 未満	2.4 以上 3 未満	3 以上

排出目標値との比較結果

項目	対象施設	排出目標値	規制基準値	測定結果		モニタリング結果の評価			測定日		
				第1回 (4月～ 9月)	第2回 (10月～ 3月)	A	B	C			
水質汚濁	下水	pH	5.8～8.6	5を超え9未満	7.4	7.5	5.8～8.6	5を超え5.8未満または8.6を超え9未満	5以下または9以上	第1回 6/14	
		BOD (mg/l)	480	600	0.5 未満	0.5 未満	480 未満	480 以上 600 未満	600 以上	第2回 12/13	
		SS (mg/l)	480	600	0.5 未満	0.5 未満	480 未満	480 以上 600 未満	600 以上		
	雨水	SS (mg/l)	120	—	1	0.5 未満	120 未満	120 以上	—	第1回 6/14	
油分 (mg/l)		施設全体	油膜が認められないこと	—	油膜が認められない	油膜が認められない	油膜が認められない	油膜が認められる	—	第2回 12/14	
騒音 ※3	昼間(dB)	施設全体	70	工業専用地域につき規制基準なし	55～65	56～60	70 未満	70 以上	—	第1回 4/14	
	朝夕(dB)	施設全体	65	工業専用地域につき規制基準なし	49～57	49～58	65 未満	65 以上	—		
	夜間(dB)	施設全体	63	工業専用地域につき規制基準なし	49～57	50～58	63 未満	63 以上	—		
振動 ※3	昼間(dB)	施設全体	65	工業専用地域につき規制基準なし	41～45	37～46	65 未満	65 以上	—	第2回 10/20 (朝・ 昼間)	
	夜間(dB)	施設全体	60	工業専用地域につき規制基準なし	32～37	30 未満 ～35	60 未満	60 以上	—	10/23 (夕・ 夜間)	
悪臭	アンモニア (ppm)	施設全体	1.6	2	風下: 0.1 風上: 不検出	風下: 不検出 風上: 0.2	1.6 未満	1.6 以上 2 未満	2 以上	第1回 4/4※1	
	メチルメルカプタン (ppm)	施設全体	0.0032	0.004	不検出	不検出	0.0032 未満	0.0032 以上 0.004 未満	0.004 以上		
	硫化水素 (ppm)	施設全体	0.048	0.06	不検出	不検出	0.048 未満	0.048 以上 0.06 未満	0.06 以上		
	硫化メチル (ppm)	施設全体	0.04	0.05	不検出	不検出	0.004 未満	0.004 以上 0.005 未満	0.005 以上		
	二硫化メチル (ppm)	施設全体	0.024	0.03	不検出	不検出	0.024 未満	0.024 以上 0.03 未満	0.03 以上		
	トリメチルアミン (ppm)	施設全体	0.016	0.02	不検出	不検出	0.016 未満	0.016 以上 0.02 未満	0.02 以上		
	アセトアルデヒド (ppm)	施設全体	0.08	0.1	不検出	不検出	0.08 未満	0.08 以上 0.1 未満	0.1 以上		第2回 10/17※2
	プロピオンアルデヒド (ppm)	施設全体	0.08	0.1	不検出	不検出	0.08 未満	0.08 以上 0.1 未満	0.1 以上		
	ノルマルアルデヒド (ppm)	施設全体	0.024	0.03	不検出	不検出	0.024 未満	0.024 以上 0.03 未満	0.03 以上		
	イソブチルアルデヒド (ppm)	施設全体	0.056	0.07	不検出	不検出	0.056 未満	0.056 以上 0.07 未満	0.07 以上		
	ノルマルアルデヒド (ppm)	施設全体	0.016	0.02	不検出	不検出	0.016 未満	0.016 以上 0.02 未満	0.02 以上		
	イソバレルアルデヒド (ppm)	施設全体	0.0048	0.006	不検出	不検出	0.0048 未満	0.0048 以上 0.006 未満	0.006 以上		
	イソブタノール (ppm)	施設全体	3.2	4	不検出	不検出	3.2 未満	3.2 以上 4 未満	4 以上		
	酢酸エチル (ppm)	施設全体	5.6	7	不検出	不検出	5.6 未満	5.6 以上 7 未満	7 以上		
	メチルイソブチルケトン (ppm)	施設全体	2.4	3	不検出	不検出	2.4 未満	2.4 以上 3 未満	3 以上		
	トルエン (ppm)	施設全体	24	30	不検出	不検出	24 未満	24 以上 30 未満	30 以上		
	スチレン (ppm)	施設全体	0.64	0.8	不検出	不検出	0.64 未満	0.64 以上 0.8 未満	0.8 以上		
	キシレン (ppm)	施設全体	1.6	2	不検出	不検出	1.6 未満	1.6 以上 2 未満	2 以上		
	プロピオン酸 (ppm)	施設全体	0.056	0.07	風下: 不検出 風上: 0.001	不検出	0.056 未満	0.056 以上 0.07 未満	0.07 以上		
	ノルマル酪酸 (ppm)	施設全体	0.0016	0.002	不検出	不検出	0.0016 未満	0.0016 以上 0.002 未満	0.002 以上		
ノルマル吉草酸 (ppm)	施設全体	0.0016	0.002	不検出	不検出	0.0016 未満	0.0016 以上 0.002 未満	0.002 以上			
イソ吉草酸 (ppm)	施設全体	0.0032	0.004	不検出	不検出	0.0032 未満	0.0032 以上 0.004 未満	0.004 以上			

※1 悪臭測定時の気象 (第1回) 天候: 晴、気温: 12.8℃ (風上)・13.0℃ (風下)、風向: 北 (風上)、北 (風下)

※2 悪臭測定時の気象 (第2回) 天候: 晴、気温: 20.2℃ (風上)・20.0℃ (風下)、風向: 南 (風上)、南 (風下)

排出目標値との比較結果

項目	対象施設	排出 目標値	規制 基準値	測定結果							モニタリング結果の評価			
				4/4	4/14	6/14	9/11	10/17	12/13	2/19	A	B	C	
悪臭	臭気 指数	施設全体	臭気指数 10未満	—	風上:18 風下:10 未満	風上:11 風下:10 未満	10 未満	風上:12 風下:12	風上:12 風下:13	風上:15 風下:10 未満	10 未満	臭気指数 10未満	臭気指数 10	臭気指数 10を超える
	臭気	施設全体	周辺の人 の多数が 不快を感じ ないと認め られる程度	周辺の人 の多数が 不快を感じ ないと認め られる程度	不快を感じない程度 ※測定日：週2回							不快を 感じない	不快を 感じる	

【総括（全体評価）】

一つの業者が悪臭の測定項目のうち臭気指数について目標値を超えたが、その他すべての項目について、すべての事業者がA評価となっており、目標値を超えた臭気指数には十分留意する必要があるものの、周辺の人に不快を与える臭気調査には該当していないことから、全体としては周辺環境への影響は小さいものと評価できる。